



2025年9月5日

## 新型BMW iX3：ノイエ・クラッセ第一弾

**技術発展とデザインの面で驚くべき飛躍を遂げたBMW次世代電気自動車**

**第6世代BMW eDriveテクノロジー、円筒型バッテリー・セルを採用した新型高電圧バッテリー、800Vの新技術、2つの電気モーターによる電動4輪駆動モデル**

**400kWの充電、双方向充電が可能に**

**ドライビング・ダイナミクス、自動運転、インフォテインメント、ベーシック&コンフォート向上機能を網羅する4つの「スーパープレイン」を備えたソフトウェア・ディファインド・ビークル**

**潜在的なダイナミクス、正確性、効率を最大限に引き出す、BMWダイナミック・パフォーマンス・コントロール・ドライブトレインとドライビング・ダイナミクス・マネジメント技術を備えた「Heart of Joy」**

**色褪せず、モダンで、無駄のない、BMWの新たなデザイン言語の登場**

**高いカスタマイズ性と広範なデジタル・サービスを誇る、BMWオペレーティング・システムXをベースとしたBMWパノラミックiDrive**

**CO2排出量削減とサーキュラリティ向上を目指す、総合的なサステナビリティ戦略**

**ミュンヘンで開催のIAAモビリティ2025にて世界初公開**

**2025年後半、BMWグループのデブレツェン新工場にて量産開始予定**

BMWがノイエ・クラッセ第一弾のモデルを公開する。BMW iX3の次世代モデルは電気自動車のスポーツ・アクティビティ・ビークル(SAV)で、第6世代BMW eDriveテクノロジー、800kmの航続可能距離、400kWの充電、個性豊かなデザイン言語、BMWパノラミックiDrive、そして総合的なサステナビリティ構想を備え、ブランドを象徴するドライビング・プレジャーは新たな時代へと突入する。先駆的なエレクトロニクスおよびソフトウェア・アーキテクチャーが、ドライビング・ダイナミクス、自動運転、インフォテインメント、ベーシック&コンフォート向上機能を網羅する4つの高性能コンピューター「スーパープレイン」により、デジタル・エクスペリエンスの新たな地平を切り開いている。また、ドライブトレインおよびドライビング・ダイナミクスの制御システム「Heart of Joy」により、先例のないほどのダイナミズム、正確性、効率性を感じることが可能である。新型BMW iX3は、ミュンヘンで開催されるIAAモビリティ2025国際モーターショーにて、世界初公開となる。

BMWグループにとって、新型BMW iX3の世界初公開は、企業の変革を進めるうえでの1つのマイルストーンである。ノイエ・クラッセの到来を先導するこのSAVにより、電動化やデジタル化、サーキュラリティの最先端技術に、路上で初めて触れることになる。BMW AG取締役会会長のオリバー・ツィップセは、「ノイエ・クラッセは、未来を見据えた当社史上最も大規模なプロジェクトであり、テクノロジー、ドライビング・エクスペリエンス、デザインにおける大きな飛躍として位置付けられます。すべてが刷新されているにもかかわらず、ノイエ・クラッセは今までで一番BMWらしいクルマです。搭載されるドライブ・システムにかか

わらず、当社の製品範囲全体が、ノイエ・クラッセがもたらす革新の恩恵を受けます。大胆な構想として始まったものが、今では現実となりました。BMW iX3 は、ノイエ・クラッセとして量産される初めてのモデルとなります。我々は、BMW 史上最も成功した電気自動車の 1 つを次世代モデルの形で路上へと送り出すだけではなく、BMW の新たな時代を切り開くのです。」と、コメントしている。

次世代の BMW iX3 は、路上を走る最初のノイエ・クラッセとして、同じ名前を持つ先代モデルからの飛躍を遂げ、従来のモデル・チェンジの枠組みをはるかに凌駕している。新型 BMW iX3 は開発当初から、電気自動車と真摯に向き合ってきている。車両コンセプトでは、モダンな軽快さを放つエクステリアに、ボンネット下の追加収納スペースを始めとした、十分な広さのインテリア・スペースとインテリアの多様な可変性が組み合わされている。第 6 世代の BMW eDrive テクノロジーも採用され、出力、効率、航続可能距離、充電能力が大幅に向上している。また、エレクトロニクスおよびソフトウェアに関する新たなアーキテクチャーの下で、従来の 20 倍もの処理能力を発揮する 4 つの高性能コンピューターを採用している。ここに含まれるドライブトレインおよびドライビング・ダイナミクスの制御システム「Heart of Joy」は、BMW ダイナミック・パフォーマンス・コントロール・ソフトウェア・スタックと連携している。BMW オペレーティング・システム X をベースとする BMW パノラミック iDrive と自動運転を実現する最新システムが、ユーザー・エクスペリエンスにおける高いレベルのカスタマイズ性を実現することで、ドライバーと車両が従来よりも集中的かつ直感的に協働できるようになっている。これに加え、新型 BMW iX3 は、素材選定からリサイクル可能性の検討、製造プロセスに至るまで、原材料の責任ある利用という点でも大きな進化を遂げている。

このノイエ・クラッセ第一弾となるモデルの量産は、ハンガリーにある BMW グループのデブレツエン工場にて開始される予定である。この電気自動車 SAV は、新設される組み立てラインで製造された後、2025 年暮れ以降にデリバリーが開始される。その皮切りとなるのは、出力 345kW/470hp、航続可能距離 800km (WLTP モード、暫定値)、電動 4 輪駆動が特徴の BMW iX3 50 xDrive である。これに続く形で、エントリー・モデルを始めとした他の電気自動車モデルが製造される見通しである。新型 BMW iX3 の主要な市場はヨーロッパとアメリカであり、中国におけるニーズや要望も取り入れた新型 BMW iX3 のバリエーションも、早ければ 2026 年に瀋陽工場で生産開始となる見込みである。

### BMW の新たなデザイン言語の登場：無駄を排除した、個性豊かで、色褪せないデザイン

重要な技術的進歩には、大幅なデザイン変更が付き物である。新型 BMW iX3 にも BMW の新たなデザイン言語が登場し、近日中に BMW ブランドの全モデルに応用される予定である。この新たな形式の採用により、BMW の独創的で歴史のある青写真が、非常にモダンな形で解釈される。現在のメンタリティを捉えつつも色褪せないデザインで、BMW iX3 は現代のスポーツ・アクティビティ・ビークルを再解釈している。

- **BMW の SAV で定番のプロポーション：強い存在感を放ち、4 つのホイールがくっきりと際立つ 2 ボックス・デザイン。**
- **BMW ブランドの本質に迫る無駄のないデザイン。先例のないほどの BMW らしさを引き出している。**
- **BMW X モデルのための、ブランドの新たな顔を備えたアップライトなフロント・エンド。** 垂直に配置された LED ユニットを用いたヘッドライトが、BMW を象徴するライトに新たな解釈を加えている。フロント中央の**縦型デザインのキドニー・グリル**は、1960 年代のノイエ・クラッセを参考にしている。クロームの代わりに照明が採用され、昼にも夜にも光り輝く個性豊かなアクセントとなる。ヘッドライト、横型デザインのライト・サーフェス、BMW キドニー・グリル アイコニック・グローが演出する**ダイナミックなライト・エフェクト**が、一目で BMW と分かる象徴的なデザインを際立たせている。
- **モノリシックなサーフェスと数本の緻密なライン**が、視線を奪うシルエットを生み出している。コンパクトでほっそりとしたグリーンハウスは、車両の**エアロダイナミクス (空気抵抗 : 0.24)** を向上させ、**ホイール・アーチの視覚的なインパクト**を増大させている。
- **BMW X モデルらしい特徴的なスタイルを持つ、ボディと同色のたくましいホイール・アーチ。**

- **フラット**なドア・ハンドルとガラス・サーフェス。
- **リヤ・エンド**も力強くスポーティな外観。リヤの中心まで延びるテールライトは、**BMWらしいL型ライト**に水平方向の新解釈を加えている。

## インテリア・デザイン：モダンなスペース作りで、BMWらしいドライバー・フォーカスと乗員全員の格別な快適性を実現

BMW iX3 のインテリア・デザインは、現代性とデジタル性という点で、新たな基準を打ち立てている。水平的な要素で構成されたコックピットは、乗員を包み込むかのような効果を生み出している。インテリアのハイライトとなる新機能は、新たなコントロール/オペレーション・システムである BMW パノラミック iDrive である。このシステムは、先例のないほどのドライバー・フォーカスとカスタマイズ性を実現している。適切なタイミングに適切な場所で、適切な情報をドライバーに提供している。ディスプレイ、ジョメトリー、ライト&サウンド・デザインが融合し、総合的な体験を演出している。また、My Modes は照明やサウンド、ディスプレイの内容を組み合わせて調和させ、厳選された体験を実現している。緻密に配置されたインテリアが醸し出す世界観は、どんなエクイップメント・パッケージと組み合わせても、独創的で傑出した個性を生み出している。魅力的なカラーの豊富なラインナップが揃い、インテリアの色調とエクステリアのボディ・カラーの完璧な組み合わせが可能である。

- エクステリアの**無駄のないデザイン言語**を反映するモダンなインテリア。
- 温かみがあり、明るく、**乗員を歓迎するムード**。すっきりとしたフォルムにより、**ドライビング・エクスペリエンス**にスポットが当たり、BMW パノラミック iDrive にふさわしい舞台が整っている。
- BMW iX3 の**フルエレクトリック・ドライブ・アキテクチャー**を基盤として、ゆったりとした**開放感**と、**SAVらしい直立のシート・ポジション**がもたらされている。**包み込むような形状**の、調和がとれたサーフェス・デザインである。
- 広いウインドー・サーフェスと、**クライメート・コンフォート・ガラス**を採用したオプション装備のパノラマ・ガラス・サンルーフが、車内を光で満たしている。
- ムードたっぷりに**バックライトが光るファブリック素材のサーフェス**を持つ、「フローティング」インスツルメント・パネル。
- **BMW HypersonX**：新たなドライビング・サウンド、サウンド・エフェクト、サウンド・シグナルが特徴の、革新的なサウンドスケープ・システム。

## BMW パノラミック iDrive：卓越したドライバー・フォーカス、BMWらしいスタイル

BMW iX3 は、BMW パノラミック iDrive を搭載する最初のモデルとして、ユーザー・エクスペリエンス、さらには「駆けぬける歓び」を再定義している。このシステムのベースは、併せて新開発された BMW オペレーティング・システム X である。BMW パノラミック iDrive では、デジタル機能と物理的エレメントをバランス良く調整することで、BMW の有名な「手はハンドルに、視線は道路に」の原則に則りながら、直感的な操作性をドライバー・フォーカスの新たなレベルにまで引き上げている。

- **最適な組み合わせの操作方法**：BMW iX3 のドライバーはいつでも、**適切なタイミングで適切な場所で、適切な情報を入手**することが可能である。このシステムでは終始、スイッチやボタンなどの**アナログ制御**と、タッチ操作やボイス・コマンドなどの**デジタル制御を最適な形で組み合わせる**という方針が取られている。ウインドー・スクリーン・ワイパー/ウインカー、ドア・ミラー、音量コントロール、ギヤ・セレクター、ウインドー・デフロスターには**ハaptic・スイッチ**を採用している。その他の機能も、**タッチ操作やボイス・コマンド、またはマルチファンクション・ステアリング・ホイール**での操作に最

適化されている。

- BMW パノラミック・ビジョンは、フロント・ウインドー下部の、ナノ・コーティングが施された黒色のサーフェスの 2 本の A ピラーに挟まれた領域 (110cm) に情報を投影する。重要度の高い運転関連情報は、ドライバーの視線の先にある、ステアリング・ホイール上部の BMW パノラミック・ビジョンの左側エリア (左ハンドル車の場合) に表示され、ドライバーはセンター・ディスプレイを操作して、BMW パノラミック・ビジョンの中央エリアと右側エリアの表示内容をカスタマイズすることが可能である。BMW パノラミック・ビジョンの統合方式は、ドライバーと乗員に 3D 効果をもたらしている。
- オプション装備の BMW 3D ヘッドアップ・ディスプレイは、BMW パノラミック・ビジョン・ディスプレイ上部のドライバーの視線の先に、奥行きのある 3D イメージを利用した、統合ナビゲーションと自動運転関連情報を表示することが可能である。BMW パノラミック・ビジョンと BMW 3D ヘッドアップ・ディスプレイには調整が行き届いている。
- マトリクス・バックライト・テクノロジーを採用したフリーカット・デザインのセンター・ディスプレイ (17.9 インチ、3,340 × 1,440 ピクセル) は、ドライバーに向かって 17.5° 傾いており、ステアリング・ホイールに隣接したインスツルメント・パネル上の、人間工学的に理想的な位置に配置されている。センター・ディスプレイのホーム画面には、BMW Maps のナビゲーション・システムのマップなど、個人でカスタマイズ可能なコンテンツを表示することが可能である。その上のドライバー側エリアには、頻繁に使用する機能を設定できる ウィジェット が縦方向に配置されており、スワイプ操作での切り替えが可能である。この素早いアクセスを可能にする技術は QuickSelect と呼ばれ、サブメニューを経由しなくとも、重要な機能をすぐに呼び出すことが可能である。
- BMW オペレーティング・システム X のメニュー構成は徹底的に改良され、各種機能を素早く見つけることが可能となり、直感的な操作が実現している。アイコンはすべてセンター・ディスプレイに表示され、直接選択することが可能である。例えば、ロービームのヘッドライトのシンボルを選択すると、ライト・セッティングへと移動する。
- 新たなマルチファンクション・ステアリング・ホイールは、物理的な機能コントロールの中核を担っている。ボタン・パネルはシャイ・テック・アプローチに基づいて設計され、ドライバーと車両との協調的な関係構築に役立っている。各種ボタンは、機能が利用可能あるいは利用中の場合にのみ点灯する。レリーフ状のサーフェスを持つコントロール・パネルとアクティブなハプティック・フィードバックにより、道路に視線を向けたまま直感的な操作を行うことが可能である。
- BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタンスは大幅なアップグレードを経て、2 種類のボイス、BMW パノラミック・ビジョン用の外観、そしてプロアクティブな提案とルーティンのカスタマイズが可能なドライバー向けアシスト機能が追加されている。また、大規模言語モデル (LLM) 技術も段階的に導入され、非常に自然なボイスによるインタラクションが実現している (LLM 技術はナビゲーション機能から順次適用予定で、ローンチ時点ではアメリカ国内でのみ利用可能)。

## 広範なデジタル・サービスと高度なカスタマイズ性を提供する BMW オペレーティング・システム X

新たな BMW パノラミック iDrive を支えるのは、併せて新開発された BMW オペレーティング・システム X である。このシステムは、多彩なカスタマイズ範囲、インテリジェントなドライバー・アシスタンス、多種多様なデジタル機能、My BMW アプリ経由の広範なコネクティビティ、そして BMW ソフトウェア・アップデートによる優れた将来性を実現している。デジタル・エクスペリエンス全体を発展させるにあたり、BMW グループはデータ保護とサイバー・セキュリティを最優先事項として位置付けている。

- 高度なカスタマイズが可能なデジタル・エクスペリエンスを実現する BMW ID : BMW ID を BMW デジタル・キーもしくは物理キーと紐付ければ、BMW パノラミック・ビジョンの設定、QuickSelect ウィジェットの選択内容や配置、ルーティン、お気に入りのメディア、シート設定と乗降時設定などの多くの

車両設定が、ドライブの度に**自動**で有効にすることが可能である。

- **BMW Maps** のナビゲーション・システムが標準装備され、最適な充電を提案するインテリジェントなルート案内を行なうことが可能である。BMW 3D ヘッドアップ・ディスプレイ、パノラミック・ビジョン、およびセンター・ディスプレイに表示されるナビゲーション情報の構成が、**BMW パノラミック iDrive** を通じて優れたナビゲーション・エクスペリエンスをもたらしている。
- 超広帯域無線通信技術を用いる **BMW デジタル・キー・プラス** は、機能性の幅が広く、車両へのアクセスに最適な方法である。大手メーカー（Apple、Samsung、Google など）製の**スマートフォンやスマートウォッチ** は、簡単なセット・アップで車両キーとして利用可能になる。BMW アイコニック・グロー・エクステリア・パッケージを装備している場合は、**乗車と降車を演出するライト・エフェクトとサウンド・エフェクトのカスタマイズが可能である。**
- **広範なエンターテインメント・オプション**。BMW オペレーティング・システム X では、Spotify などの音楽配信アプリと同様に、**AirConsole での手軽なゲーム・プレイ**、**Disney+** や YouTube を始めとした国際的/地域的なオンデマンド/ライブ動画配信プラットフォームなど、多彩なエンターテインメントを楽しむことが可能である。停車中には、**Zoom アプリでのビデオ通話**も可能であり、ビデオ入力端子を接続しなくとも、ドライブの間、シームレスに会話を続けることが可能である。
- **BMW コネクテッド・ドライブ・ストア** では、現在ダウンロードやアクセスが可能な数々の機能を一覧表示でいつでも確認し、車両から直接、または My BMW アプリから**コネクテッド・ドライブ・アップグレード** の形で、簡単かつ柔軟に追加することが可能である。さらに、コネクテッド・ドライブ・アプリ・ストアでは、多くの**サードパーティ製アプリ**へのアクセスを確保し、ミュージック&オーディオ、エンターテインメント、ゲーム、ニュース、トラベル&ローカルのカテゴリに分類された 60 以上のアプリが、世界中どこでも手に入れることができる。
- **BMW デジタル・プレミアム**：顧客がニーズに応じて追加できる機能は、多様な**セーフティ機能**、拡張ナビゲーション機能、エンターテインメント用の**無制限データ**、そして **BMW M アプリ**（M Sport 車両のみ）にまで及んでいる。柔軟性も向上しており、BMW デジタル・プレミアムを装備していない場合でも、顧客は自身の**スマートフォンをホットスポットとして** 利用するか Wi-Fi ネットワークにログオンすることで、BMW オペレーティング・システム X によりアクセス可能となったエンターテインメント機能やサードパーティ製アプリを楽しむことが可能である。
- **BMW iX3 では My BMW アプリとの連携がよりいっそう緊密に**：リアルタイムの情報やインタラクション、従来よりも多くの機能へのアクセスが可能となることで、リモート・サービスやカスタマイズの選択肢が広がり、車内のコネクティビティ・オプションが充実している。
- 新たな **BMW ソフトウェア・アップデート** 機能により、車両機能の無線アップデートを改善し、My BMW アプリ経由もしくは車内から直接行うアップデート・プロセスのカスタマー・エクスペリエンスが向上している。
- **スマートフォン・インテグレーション（Apple CarPlay、Android Auto）** が標準装備である。

## 第 6 世代 BMW eDrive テクノロジー：短い充電時間でより長く走行

ノイエ・クラッセのために開発された第 6 世代 BMW eDrive テクノロジーには、極めて効率の良い電気モーター、円筒型バッテリー・セルを搭載した新たな高電圧バッテリーとエナジー・マスター、800V テクノロジーが採用されています。BMW iX3 50 xDrive を動かす電気モーターは、フロント・アクスルとリヤ・アクスルに 1 つずつ配置され、345kW/470hp の出力と 645Nm のトルクを発揮している。0-100km/h の加速にかかる時間は 4.9 秒で、最高速度は 210km/h である。BMW iX3 50 xDrive には、使用可能容量 108kWh の高電圧バッテリーが搭載されている。この車両は、WLTP モードで最長 800km の走行が可能である (CLTC : 最長 900 km / EPA : 最長 400 マイル)。

- エレクトリック・モビリティもモジュール形式の「積み木」コンセプトによりテクノロジー・オープンネスに対応：電動4輪駆動のBMW iX3 50 xDrive：リヤ・アクスルには大幅にアップデートした電気励磁交流同期モーター（EESM）、フロント・アクスルには新型の非同期モーター（ASM）を採用している。
- EESMは、ローターで励磁により発生させた磁場を細かく調整できることで高いレベルの効率性を誇り、速い回転速度でも一定の出力が得られるモーターである。インバーターには、800Vテクノロジーと、効率性に特化した炭化ケイ素（SiC）半導体が新たに採用している。
- ASMはステーターにより磁場を発生させるモーターで、コンパクトな設計と最適化されたコスト・パフォーマンスを誇っている。
- ノイエ・クラッセのエレクトリック・ドライブ・システムは、先代システムから大幅な進化を遂げている：エネルギー・ロスを40%、重量を10%、製造コストを20%カットしている。
- 円筒型のバッテリー・セルを採用した新コンセプトの高電圧バッテリー：第5世代BMW eDriveと比較して、セルあたりのエネルギー密度が20%、充電速度が30%向上している。
- BMWグループが開発したエナジー・マスターは、高電圧および低電圧での電力供給を行い、高電圧バッテリーの安全で効率的な機能を支えるインテリジェント・インターフェースである。
- エネルギー密度と効率性の向上を実現する円筒型バッテリー・セルを、高電圧バッテリーに直接組み込んでいる（セル・トゥ・パック方式）。高電圧バッテリーは、ストラクチャーの一要素として新型BMW iX3の車両アーキテクチャーに統合され、車両重量の最小化に貢献している（パック・トゥ・オープンボディ方式）。

### BMW Charging：充電時間の大変な短縮と、双方向充電の初導入

第6世代BMW eDriveがもたらす進歩は、新型BMW iX3のドライビング・エクスペリエンスだけでなく、充電エクスペリエンスにも大きな影響を及ぼしている。新型BMW iX3は400kWもの最大充電レートを誇り、800V直流（DC）急速充電ステーションを利用して、350km以上も走行できるエネルギーをわずか10分で充電することが可能である。21あれば、高電圧バッテリーを10%から80%まで充電することが可能である。新型BMW iX3はインテリジェントなスイッチング・マトリックスを採用しており、400VのDC充電ステーションでも充電可能である。さらに、新型BMW iX3には多様な双方向充電機能も搭載され、ビークル・トゥ・ロード（V2L）ビークル・トゥ・ホーム（V2H）、そしてビークル・トゥ・グリッド（V2G）の電力供給源としても機能する。また、新型BMW iX3の販売開始に合わせて、充電関連の標準装備とオプション装備には多くの項目が追加されている。

- 800Vテクノロジーにより、公共の充電ステーションで超急速DC充電が可能に。400V充電ステーションにも対応する。
- 最大出力22kWの交流（AC）充電は、オプションとして利用可能。0%から100%までの充電にかかる時間はわずか5時間45分である（充電出力11kWでは11時間）。
- インテリジェントな充電ポート・フラップは自動で開閉する。
- 新型BMW iX3は双方向充電にも対応する設計：オプション装備のビークル・トゥ・ロード（V2L）機能の放電レートはヨーロッパ圏内で最大3.7kW。これにより、新型BMW iX3はモバイル充電器として機能する。ビークル・トゥ・ホーム（V2H）機能では、発電した電力の貯蔵庫として車両を利用することで、コストを最小限に抑えている。ビークル・トゥ・グリッド（V2G）は、エネルギー市場に車を組み込むための道を切り開いている。
- アプリもカードも必要ないユーザー・フレンドリーな充電を可能にしたのが、プラグ&チャージ・マルチ・コントラクト。最大10件までの車両充電契約に対応している。
- 新型BMW iX3の販売開始に合わせて、新たな充電アクセサリーが発売：BMW Wallbox Professional

は、市場に応じて DC 充電機能と最大 19.2kW の放電レートに対応している。BMW Wallbox Plus では、最大出力 22 kW の AC 充電が可能となっている。マルチファンクション・チャージャーには、充電や放電に利用できる各種アダプターが付属している。

### Heart of Joy :「駆けぬける歓び」は新たなステージへ

4つの「スーパープレイン」のうちの 1 つである「Heart of Joy」は、ドライブトレインとドライビング・ダイナミクス・マネジメントの役割を担っている。この高性能マネジメント・ユニットの管轄は、ドライブトレイン、ブレーキ、エネルギー回生、ステアリング補助機能である。BMW ダイナミック・パフォーマンス・コントロールのソフトウェア・スタックと連携することで、新たな水準のスピードと正確性を発揮しながら、ドライビング・ダイナミクスに関わるあらゆるパラメーターを計算している。新型 BMW iX3 のドライバーと同乗者は、走行シーンやスピードに関わらず、BMW らしい独自の調和が取れたドライビング・フィールを体感することが可能である。アクセルやブレーキ、ステアリング操作のすべての動きが、ダイレクトで確実かつ正確に実行され、抜群のトラクションや効率的なエネルギー回生、スムーズな停車プロセスは BMW の歴史の中でも特に優れ、このシステムの数ある特徴の一角を担っている。

- **Heart of Joy** は、従来のコントロール・ユニットの最大 **10 倍** の情報処理能力を発揮している。
- 瞬間的な電力供給、スムーズなパワー伝達、俊敏性、安定性、効率性というエレクトリック・モビリティのポテンシャルが、**最大限に引き出すことが可能である**。
- **BMW ダイナミック・パフォーマンス・コントロール**のソフトウェア・スタックは完全**自社開発**である。ドライビング・ダイナミクス・コントロールの領域における、BMW の数十年に及ぶ経験が活かされている。
- 高い処理能力により、制御用のインプット量が減少しても、優れた正確性や傑出した安定性を兼ね備えた**コーナリング時の卓越した身のこなしと、安心**がもたらされている。
- ドライブトレイン、ブレーキ・システム、エネルギー回生に対する統合マネジメントを通じた**効率性の向上**を実現している。日常的な走行では、ブレーキング操作の 98% は摩擦ブレーキを一切利用せず、**回生エネルギー**のみで行われている。

### 次世代のテクノロジーを活用した、ドライバー・アシスト・システムのための「自動運転のスーパープレイン」

より性能を高めた高性能コンピューターには、BMW iX3 の自動運転および自動駐車機能がすべて集約されている。「自動運転のスーパープレイン」はその優れた処理能力を、ノイエ・クラッセの大幅な技術的進歩を実現するためにも発揮している。AI ベースのアプローチで、人間と車両の協調的なインタラクションを最適化している。システムはこれにより、ドライバーの希望をより正確に検出して実行できるようになっている。例えば、アクティブ・クルーズ・コントロール・システムは、ブレーキ・ペダルを軽く踏んだだけでは解除されず、ドライバーが強くブレーキをかけた時にだけ解除される。より進化した BMW ハイウェイ・アシスタンスは、高速道路に入った瞬間から出る瞬間まで BMW iX3 のドライバーをサポートし、ステアリング・ホイールから長時間手を放すことが可能となる。

- **自動運転のスーパープレイン**は、従来のシステムの **20 倍** の処理速度を発揮。
- **最先端のセンサー、ソフトウェア、プロセッサー、モバイル通信技術**をベースとした機能の追加や改良。
- 協調的なステアリング操作と**世界初の**協調的なブレーキ操作による**共生的なドライバー・アシスト・システム**。
- BMW iX3 には、アクティブ・クルーズ・コントロール、スピード・リミット・インフォ、前車接近警報機能、レーン・ディバーチャー・ウォーニングに加え、**レーン・チェンジ・ウォーニング、ロード・**

プライオリティ・ウォーニング、イグジット・ウォーニング、アシステッド・ビューが標準搭載。

- ・ **新たなハイウェイ&シティ・アシスタント**は、コーナーやラウンドアバウト走行時にドライバーをサポートし、信号機も検出でき、自動で停車と発車を行なうことが可能である。
- ・ 直感的な操作による**自動駐車機能**も備わり、駐車スペース検出と操車サポートが最適化されている。

## 効率的、インテリジェント、未来への万全の備え：次世代のソフトウェア・ディファインド・ビークルを実現する、4つの「スーパーブレイン」を備えた新たなエレクトロニクス・アーキテクチャー

ノイエ・クラッセとともに達成された大きな技術的前進は、一から新規開発されたエレクトロニクス・アーキテクチャーの分野にはっきりと表れている。「スーパーブレイン」と名付けられた4つの高性能コンピューターにはそれぞれ、ドライビング・ダイナミクス、自動運転、インフォテインメント、ベーシック&コンフォート向上機能に割くための処理能力が集約されている。スーパーブレインはまた、継続的なアップグレードによりAI機能などの将来的な機能アップデートにも対応できるよう設計され、新たなソフトウェア・アーキテクチャーの基盤でもある。新型BMW iX3はその発売当初から、日常的なシーンでよりインテリジェントに使える車両となる予定である。例えば、ドライバーが助手席に置いてあるものに手を伸ばすと、自動的にインテリア・ライトが点灯する。充電ポート・フラップも自動で開閉する。「プレゼンス・ディテクション」の車内センサーで施錠中に動くものが検知された場合には、顧客のMy BMWアプリに警告が届く機能が備わっている。

- ・ **4つの「スーパーブレイン」と高度に連携したソフトウェア・プラットフォーム**により、車両とソフトウェアを切り離して開発することが可能に。未来のソフトウェア・ディファインド・ビークル実現のための基盤を形成している。
- ・ **デジタル・ナーバス・システム**：ワイヤー・ハーネスは4つのゾーンに分割されており、先代システムと比較して**30%**の軽量化と**600m**の配線短縮に成功している。
- ・ デジタル「**smart eFuses**」が従来のセーフティ・ヒューズの代わりに採用され、さまざまな状態の車両に対応するインテリジェントなパワー・モードを実現し、**総合的な電力効率**の**20%**の改善に大きく寄与している。
- ・ これらすべての要素が、My BMWアプリを利用したBMW iX3の**ネットワーク化**において、**多面的な改良**を施すための先進的な基盤に：**リアルタイムのインタラクション**、多様な**リモート・サービス**や**カスタマイズ**の契機となる各種機能へのより広範なアクセス、そして車内から直接アクセスできる新たなコネクティビティ機能。この新たな品質水準は、統合という点で新たなエクスペリエンスをもたらしながら、**将来的なイノベーション**に向けた**大きな可能性**をはらんでいる。
- ・ BMWグループは、無線アップデートにフル適合する車両を1,000万台以上も製造してきた経験から、**無線アップデートの分野**において**業界を率いている**。ノイエ・クラッセに採用された新たなソフトウェア・アーキテクチャーのおかげで、顧客に付加価値を提供するアップデートの**頻度**はさらに増加。アップデート・プロセスの**カスタマー・エクスペリエンス**も、車内から行った場合とMy BMWアプリを利用した場合の両方で改善している。
- ・ ノイエ・クラッセのために開発されたエレクトロニクスおよびソフトウェア・アーキテクチャーは、セグメントやドライブ・システムの種類を問わず、**BMWのモデル全体**に採用される予定である。

## 車両のキャラクターとカスタマイズ性：高いカスタマイズ性による多面的なドライビング・エクスペリエンス

新型BMW iX3は、新たな体験を求めて飛び出す感覚を体現したクルマである。ドライブトレインとシャシーの技術は、日常的な利用におけるスポーティなドライビング・プレジャーだけでなく、長距離ドライブにお

ける優れた快適性も約束している。インテリアでは、BMW X が誇る可変性を踏襲している。シート、ステアリング・ホイール、サーフェス素材、インテリア・カラーの選択肢も豊富である。考え抜かれたインテリアの世界観は、インテリアに多様で表情豊かなキャラクターを与えており、新型 BMW iX3 の革新的なキャラクターを反映している。

- **モダンな SAV らしいプロポーション**が、俊敏性と汎用性を感じさせている。全長：4,782mm、全幅：1,895mm、全高：1,635mm、ホイールベース：2,897mm、フロント・トレッド：1,628mm、リヤ・トレッド：1,633mm。
- **ラゲージ・ルーム容量**は、520L から最大 1,750L まで拡張可能。**ボンネット下**には容量 58L の**追加収納スペース**を用意。オートマチック・テールゲートは標準装備。ルーフ・ラックも取り付け可能。電動で収納/展開が可能な**トレーラー・ヒッチ**はオプション装備。トレーラー積載量：最大 2,000kg。
- 生産開始以降、**1 種類のソリッド・ペイント仕上げと 5 種類のメタリック・ペイント仕上げ**が選択可能となる予定。ポラライズド・グレー（メタリック）とオーシャン・ウェーブ・ブルー（メタリック）の 2 色が新たに追加。残り 3 種のメタリック・ペイントは、2026 年春に追加予定。
- BMW iX3 50 xDrive には、**標準装備として 20 インチ** ライト・アロイ・ホイールが装着。新たなライト・アロイ・ホイール（20、21、22 インチ）はオプション装備で、**BMW M ライト・アロイ・ホイール**と **BMW Individual ライト・アロイ・ホイール**も選択可能。一部は、空気力学と重量の点で最適化された **Air Performance** 規格を満たすホイール。
- **クライメート・コンフォート・ガラス**を採用した大型のパノラマ・ガラス・サンルーフはオプションとして注文可能。**太陽光エネルギーの独自のフィルタリング技術**と 100% の **UV カット効果**により、**車内を適温**に保つ。BMW 純正部品の製品範囲から、**サン・ブラインド**の追加購入も可能。
- モデル専用の **M スポーツ・パッケージ**と **M スポーツ・パッケージ・プロ**は、BMW iX3 50 xDrive の発売当初から選択可能。
- センター・コンソール上の**ステアリング・ホイール**と**セレクター・レバー**は**デザインが刷新**され、ドアの開閉も**ボタン操作**。センター・ディスプレイ経由で**タッチ操作が可能なオートマチック・クライメート・コントロール**、ローラーで操作が可能な**オーディオ・ボリューム**、リヤ・ウインドー・ヒーティング、ウインドー・デフロスター、ウォーニング・ライトは、センター・コンソールの**各種ボタン**から制御可能。センター・コンソール下には、**照明付きの収納スペース**が確保。
- **インテリア・デザイン**は、**4 種類の世界観**から選択可能：エコニアでシート表面を縁取った**エッセンシャル**、**ヴェガンザ仕上げ**のシート表面に 3 色の**カラー・バリエーション**を備えた**コンテンポラリー**、ブラックのシート表面を**ヴェeganザ/M Performtex** で仕上げた **M スポーツ・パッケージ**、そしてブラックの **BMW Individual レザー・メリノ**。
- **2 ゾーン・オートマチック・クライメート・コントロール**、**アラーム・システム (My BMW アプリ通知機能付)**、**ワイヤレス充電機能付きテレフォニー**、**シート・ヒーティング**、**電動調節式シート**は標準装備。**M スポーツ・シート**、**マルチファンクション・シート**、**マルチファンクション・ステアリング・ホイール**、**M スポーツ・ステアリング・ホイール**は、オプション装備として購入可能。

## サーキュラリティの向上と CO2 排出量のさらなる削減に向けた総合的なアプローチ

BMW グループは、サーキュラリティの向上と CO2 排出量の削減に改めて全力で取り組むことにより、次世代車両の開発に取り掛かっている。これは、ドライブトレインの電動化という枠を大きく飛び越える試みである。したがって、製品のカーボン・フットプリントを最小限に抑えるための総合的なアプローチは、サーキュラリティに着目した製品開発から、2 次原材料や再生可能エネルギーの体系的な活用によるサプライ・チェーンの最適化、車両の製造、利用の段階を経て、最終的なリサイクルに至るまで、新型 BMW iX3 にも踏襲されてきている。様々な工夫が功を奏し、新型 BMW iX3 50 xDrive のライフ・サイクル全体に渡るカーボン・

フットプリントは、CO<sub>2</sub>e（二酸化炭素換算）で走行距離 20 万 Km として算出すると、先代モデルと比較して 34 % 減少している。すなわち、ヨーロッパ地域の電力構成に基づくエネルギー使用を想定した場合、電気自動車である BMW iX3 50 xDrive は、走行距離が約 21,500 km に達した時点で、同等の性能を持つ内燃エンジン・モデルよりも（ライフ・サイクル全体に渡る）CO<sub>2</sub> 排出量が少なくなる。この車両を再生可能エネルギー由来の電力のみで充電すれば、わずか 17,500 km を走行した時点で同じ結果が得られることになる。

- 「**2 次原材料を第一に**」：新型 BMW iX3 の約 **3 分の 1** は、2 次原材料でできている。
- **サプライ・チェーンにおけるカーボン・フットプリント**を、先代モデルと比較して **42 %** (BMW iX3 50 xDrive の場合) 削減。
- BMW iX3 50 xDrive の高電圧バッテリーに採用されている**第 6 世代新型円筒型バッテリー・セル**では、先代モデルの第 5 世代バッテリー・セルと比較して、**カーボン・フットプリントを 42 % 削減**。主な要因は、**再生可能エネルギーで発電した電力**の利用割合の増加や、バッテリー・セルの製造過程における 2 次原材料を利用している。
- 標準仕様として、**レザー不使用のインテリアを採用**。エコニアのシートに使われている糸は、**100%リサイクルされたペットボトル**で作られている。
- ルーフ・ライニングやフロア・マットに使われている糸も、**100%リサイクルされた素材**で作られています。
- ボンネット下の**収納スペース**に採用された熱可塑性プラスチック部品には、リサイクルされた**海洋プラスチック**が **30 %** 含まれている。
- **アルミニウム**製のスイベル・ベアリングとハブ・キャリアには、2 次原材料を **80% 使用**。ホイール・リムのアルミニウムは、2 次原材料を **70% 含有**している。
- BMW グループのデブレツェン工場での製造には、(通常稼働時に) **化石燃料を使用せず**、新型 BMW iX3 の製造に必要な電力は、100% **再生可能エネルギー**で賄われている。
- 第 6 世代 **BMW eDrive テクノロジー**では、他の BMW EfficientDynamics 戦略との連携により、先代モデルと比較して、全体的な燃料効率が約 **20 %** (WLTP モード) 改善されている。
- **モノマテリアル**の使用量の増加と、部品の**分解プロセス**の簡略化により、**サーキュラリティ**が向上。
- 新型 BMW iX3 の**ビーカー・フットプリント**を、製造開始時点からオンラインで公開：TÜV の認証を受けたレポートで、**透明性**が向上している。

本件に関する読者および視聴者からのお問合せ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>